



Apple対Masimo特許訴訟：6億3400万ドル陪審評決の深層分析レポート

2025年11月14日、カリフォルニア州連邦地裁の陪審員はAppleに対し、医療機器メーカーMasimoへ6億3400万ドル（約980億円）の損害賠償を命じる判決を下しました。本レポートでは、この重要な特許訴訟判決の詳細を多角的に分析します。

1. 判決の詳細と損害賠償額の算出根拠

1.1 陪審員が認定した侵害事実

侵害特許： 米国特許第10,433,776号（低消費電力パルスオキシメータ技術）

重要な認定事項：

- 陪審員は、Apple Watchが同特許で定義される「患者モニター（patient monitor）」に該当すると判断
- Apple Watchのワークアウトモードと心拍数通知機能が、Masimoの特許権を侵害していると認定
- 特許の4つの請求項すべてについて侵害を認定

「患者モニター」該当性の争点：

訴訟の核心は、Apple Watchが特許上の「患者モニター」の定義に該当するかという点でした。

- **Masimoの主張：** Apple Watchの高心拍数通知機能は95%の感度で異常を検知でき、これは重要な医療イベントを見逃さない連続監視機能に相当するため「患者モニター」である
- **Appleの主張：** 「患者モニター」は連続的な臨床監視用デバイスを指し、Apple Watchの通知は10分間静止状態が続いた場合のみ作動するため該当しない

陪審員はMasimoの解釈を採用し、Apple Watchを「患者モニター」と認定しました。この認定により、血中酸素センサー技術の特許侵害が成立することになりました。

1.2 損害賠償額6億3400万ドルの算出根拠

対象製品と販売台数：

- 2020年～2022年に販売された約4,300万台のApple Watch
- 血中酸素測定機能を搭載したモデルが対象

ロイヤリティ計算：

- Masimoは1台あたり14.72～17.39ドルのロイヤリティを主張
- 計算式：約4,300万台 × 14.72ドル ÷ 6億3,300万ドル
- 陪審員は、Masimoが求めた6億3,400万～7億4,900万ドルの範囲の下限を採用

Appleの主張と陪審員の判断：

- Apple側は損害額を300万～600万ドルに制限すべきと主張していた
- 陪審員はこれを完全に退け、Masimoの主張をほぼ全面的に認める形となった
- この判決額は、カリフォルニア州中部地区における消費者技術関連の特許訴訟で過去最大級の賠償額

2. Apple対Masimo法的紛争の時系列整理

2.1 紛争の発端（2013–2020年）

2013年7月： AppleがMasimoの最高医療責任者Michael O'Reilly氏を採用

2014年： AppleがCercacor（Masimoのスピンオフ企業）の最高技術責任者Marcelo Lamego氏を採用

- Masimoは、この時期にAppleがパートナーシップ協議を装いながら人材を引き抜き、技術を盗用したと主張
- Appleは当時、Apple Watch開発が難航しており、2013年のBob Mansfield氏（現退職済み幹部）のメールでは「混乱状態」「このままでは失敗する」と記されていた

2020年1月9日： Masimoがカリフォルニア州中部地区連邦地裁にAppleを提訴

- 営業秘密窃取と12件の特許侵害を主張
- これに対しAppleは12件の特許すべてについて無効化手続きを特許庁に申請

2.2 国際貿易委員会（ITC）での攻防（2021-2024年）

2021年6月29日：MasimoがITCに提訴

- Apple Watch Series 4および5が5件のMasimo特許を侵害していると主張
- 訴訟の遅延を理由にITCへの提訴に踏み切った

2023年1月：ITCの行政法判事がMasimoの主張を一部認める

2023年10月27日：ITCがMasimoに有利な最終判断を下す

- Apple Watch Series 9とUltra 2の2件の特許侵害を認定
- 「血中酸素ウェルネスアプリを削除しない限り米国への輸入を禁止する」との排除命令を発令
- 60日間の大統領拒否権行使期間後、2023年12月26日から発効予定

2023年12月21日：Appleが予定より早くApple Watch Series 9およびUltra 2の販売を米国で停止

2024年1月3日：連邦巡回区控訴裁判所がAppleの緊急申し立てを認め、ITC命令を一時停止

2024年1月18日：連邦巡回区控訴裁判所が一時停止を解除、輸入禁止令が再発効

- Appleは直ちにソフトウェアアップデートで血中酸素機能を無効化したモデルの販売を開始

2.3 回避策の開発と新たな紛争（2024-2025年）

2024年：Appleが18ヶ月にわたり血中酸素機能なしでApple Watchを米国販売

2025年7月：Appleが連邦巡回区控訴裁判所でITC輸入禁止令に対する控訴審理

- Appleの弁護士Joseph Mueller氏は、Masimoの競合製品W1が訴訟提起時点ではプロトタイプ段階（2022年発売）だったことを指摘し、「仮想的な製品」に基づく輸入禁止は不当と主張

2025年8月1日：米国税関・国境警備局（CBP）がAppleの再設計版を承認

- 驚くべき一方的な決定の逆転

2025年8月14日：Appleが再設計された血中酸素機能を発表

- watchOS 11.6.1とiOS 18.6.1のアップデートで提供

- **重要な変更点：** センサーデータはApple Watchで収集されるが、計算と表示はペアリングされたiPhone上で実行
- 「ユーザー装着デバイス」での処理に関するMasimo特許を回避する設計

2025年8月20日： MasimoがCBPとHomeland SecurityのKristi Noem長官を提訴

- CBPが一方的にAppleのインポートを許可したことは違法と主張
- 「Apple Watchとiphoneを別々に輸入しても、ユーザーがペアリングすることは明白であり、同じ侵害機能を実行する」と主張

2025年11月14日： カリフォルニア連邦地裁で6億3,400万ドルの陪審評決

同日： ITCが新たな調査手続きの開始を発表

- Appleの再設計版が依然としてMasimo特許を侵害しているか審査
- 最大6ヶ月の調査期間を予定

2.4 その他の関連訴訟

2023年4月： 営業秘密窃取訴訟が審理不成立（mistrial）で終了

- Masimoは18億5,000万ドルの損害賠償と5件のAppleパルスオキシメトリ特許の共同所有権を求めている
- 陪審員の一人が妥協を拒否し、評決に達せず
- 再審理の予定（現在も係属中）

2024年10月： AppleがMasimoに対するデザイン特許侵害で勝訴

- デラウェア州の陪審員は、Masimoの初期モデルスマートウォッチとチャージャーがAppleのデザイン特許2件を侵害していると認定
- しかし賠償額は法定最低額の250ドルのみ
- Appleは販売差し止め命令を求めたが、Masimoの現行モデルは侵害していないと判断され実現せず
- Appleの主要な狙いは、Masimoが「国内産業要件」を満たしていないことを証明することだったが、失敗に終わった

3. 技術的分析：Apple Watch血中酸素機能とMasimo特許の比較

3.1 Masimo特許10,433,776号の技術的内容

特許名：低消費電力パルスオキシメータ (Low Power Pulse Oximeter)

特許の有効期間：2022年に失効 (Appleが主張する重要なポイント)

技術的特徴：

- 複数の処理特性（脈拍数、信号対雑音比など）を予め設定された閾値と比較することで、消費電力を削減または増加させて動作するパルスオキシメータ
- 第1制御プロトコルと第2制御プロトコルを切り替えることで電力効率を最適化
- 身体組織で減衰した光に応答する信号を処理して脈拍数を監視

請求項1の要点：

1. 患者モニターを第1制御プロトコルで動作させる
2. 第1制御プロトコル光源を活性化
3. 検出器で減衰後の光を検出し脈拍数測定値を計算
4. 処理特性を閾値と比較
5. 閾値を超えた場合、第2制御プロトコルに切り替え
6. 第2制御プロトコル光源を活性化して測定を継続

3.2 Apple Watchの実装

ハードウェア構成：

- 複数波長のLED光源（通常、赤色光と赤外線光）
- フォトダイオード検出器
- Apple Watch Series 6（2020年）から血中酸素測定機能を搭載

動作プロセス：

1. 手首に装着されたApple Watchが皮膚を通して光を照射

2. 血液による光の吸収量を測定
3. 酸化ヘモグロビンと脱酸化ヘモグロビンの光吸収特性の違いから血中酸素飽和度を計算
4. 心拍数、動きなどの条件に応じて測定モードを調整

ワークアウトモードと心拍数通知機能：

- これらの機能がMasimo特許の「患者モニター」機能と技術的に重複していると陪審員が認定
- 特に心拍数通知機能は、10分間静止状態で高心拍数を検出すると警告する
- この95%の感度が「重要な医療イベントを見逃さない」という患者モニターの定義に合致すると判断された

3.3 2025年8月の再設計版の技術的変更

変更の核心：

- 以前： Apple Watch上でセンサーデータを収集、計算、表示
- 再設計版： Apple Watchでセンサーデータを収集 → iPhoneで計算と表示

Appleの主張：

- Masimoの特許は「ユーザー装着デバイス」での処理をクレームしている
- iPhoneは装着デバイスではないため、特許を回避できる

Masimoの反論：

- Apple WatchとiPhoneは明らかにペアリングされて使用される前提で設計されている
- 別々に輸入しても、最終的に同じ侵害機能を実行する
- 「表面的な修正で排除命令を回避しようとする試み」

技術的評価：

実際のパルスオキシメトリ技術としては、医療グレードの指先装着型デバイスと手首装着型デバイスでは精度に差があります。

- **指先装着型（Masimo等の医療機器）**： より安定した血流、動きの影響が少ない、FDA Class 2 医療機器承認

- **手首装着型（Apple Watch等）**：動きの影響を受けやすい、消費者向けウェルネス機器として位置づけ

しかし、陪審員は技術的精度の差異ではなく、「患者モニター」の機能的定義に該当するかを重視し、Apple Watchがその範疇に入ると判断しました。

4. Apple側の反応と控訴の見通し

4.1 Appleの公式声明

判決直後の声明（2025年11月14日）：

「本日の判決には同意できず、事実に反していると考えています。Masimoは消費者向け製品を販売していない医療機器会社です。過去6年間、彼らは複数の裁判所でAppleを訴え、25件以上の特許を主張してきましたが、その大半は無効と判断されました。本件の唯一の特許は2022年に失効しており、数十年前の歴史的な患者監視技術に特有のものです」

Appleの戦略的主張ポイント：

1. **特許の失効**：問題の特許は2022年に既に失効しており、現行製品には適用されない
2. **歴史的技術**：数十年前の古い患者監視技術であり、現代の消費者向けウェアラブルとは異なる
3. **Masimoの訴訟戦略批判**：25件以上の特許主張のうち大半が無効化されており、今回の1件も同様
4. **消費者利益**：「何百万人ものApple Watchユーザー」に不公平な影響を与える輸入禁止令

4.2 控訴の可能性と法的見通し

控訴は確実：

Appleは判決直後に控訴する意向を表明しており、連邦巡回区控訴裁判所への控訴は確実です。

控訴での主要争点：

1. **「患者モニター」の定義解釈**：
 - 地裁陪審員の解釈が過度に広範か
 - 連続監視医療機器と間欠的ウェルネスデバイスの法的区別

- 心拍数通知機能を根拠に血中酸素センサーの侵害を認定した論理の妥当性

2. 損害賠償額の算定：

- 4,300万台×14.72ドルという計算が合理的か
- 特許が2022年に失効している点をどう評価するか
- Apple Watchの価値全体に占める当該特許技術の寄与度

3. 特許の有効性：

- Appleは控訴審で特許の有効性自体を争う可能性
- 先行技術との関係、特許請求の範囲の明確性

専門家の見解：

- **判決維持の可能性：** 陪審員が事実認定を行った以上、控訴審で覆すハードルは高い。特に「患者モニター」該当性は事実問題として陪審員の裁量が尊重される傾向
- **損害額の減額可能性：** 6億3,400万ドルという金額は、控訴審で減額される可能性がある。特に特許が既に失効している点は減額要因となり得る
- **長期化の確実性：** 控訴審の審理には通常12～24ヶ月かかり、さらに連邦最高裁への上訴の可能性もあるため、最終決着には数年を要する

4.3 ソフトウェアアップデートによる回避策

現行の対応状況：

- 2025年8月の再設計版（iPhone側での計算）が既に実装済み
- しかしITCが新たに6ヶ月間の調査を開始

追加の回避策の可能性：

1. **完全な機能削除：** 最も確実だが、製品価値を大きく損なう
2. **代替技術の開発：** Masimo特許を回避する全く新しいアプローチ（技術的に困難、開発に時間とコストがかかる）
3. **ライセンス契約：** Masimoとのライセンス契約（後述の和解の項で検討）

技術的課題：

Masimoの特許が低消費電力パルスオキシメトリの基本的なアプローチをカバーしているため、完全に回避する代替技術の開発は極めて困難です。

5. 市場への影響と両社の反応

5.1 株価への即時的影響

Masimo (NASDAQ: MASI)：

- 判決発表後、株価は約5.6%上昇
- 2025年の年初来では10.35%の下落（2025年11月時点）
- 時価総額への影響：6億3,400万ドルの賠償金は大きなプラス要因だが、係争の長期化リスクも織り込まれている

Apple (NASDAQ: AAPL)：

- 判決発表後、株価は約4.5%下落（ロイターの2025年8月報道）
- 2025年の年初来では11.71%の上昇
- Appleの時価総額（約3兆ドル規模）からすると、6億3,400万ドルは0.02%程度であり、財務的インパクトは限定的
- むしろApple Watch製品ラインの将来性や、他社からの類似訴訟リスクの方が市場の懸念材料

5.2 Masimo経営陣のコメント

公式声明（2025年11月14日）：

「この結果に満足しており、裁判所と陪審員が私たちの訴訟に費やしてくれた時間と注意に感謝します。これは、患者に利益をもたらす技術を開発する能力にとって極めて重要な、私たちのイノベーションと知的財産を保護するための継続的な取り組みにおける大きな勝利です。私たちは今後も知的財産権の保護に尽力してまいります」

Masimo CEO Joe Kiani氏の戦略：

- 医療機器メーカーとしての技術的優位性を強調

- 知的財産の積極的防衛姿勢を鮮明化
- Apple Watch市場への参入（W1スマートウォッチ）は限定的だが、ITC国内産業要件を満たすために必要だった

Masimoの事業戦略への影響：

- 主力事業は病院向け医療機器（パルスオキシメータ、患者モニタリングシステム）
- 年間2億人以上の患者がMasimo SET®技術を使用していると推定
- 消費者向けスマートウォッチ市場での直接競合は限定的
- むしろライセンス収入や特許ポートフォリオの価値向上が主眼

5.3 Apple Watchビジネスへの影響

短期的影響（2024-2025年）：

- 米国市場で18ヶ月間血中酸素機能を提供できなかった
- 競合製品（Samsung Galaxy Watch、Fitbit等）との差別化要素の喪失
- ユーザー体験の低下とブランドイメージへの影響

長期的影響：

- ヘルスケア機能の拡充戦略に制約
- 将来の医療機器レベルの機能追加にリスク
- ウェアラブルヘルスケア市場でのリーダーシップへの懸念

売上への具体的影響：

- Apple Watchは年間数千万台規模で販売されているが、血中酸素機能の有無が購入判断に与える影響は限定的との見方もある
- ECG機能、転倒検出、衝突検出など他の健康・安全機能が充実しているため、代替価値は存在

6. 和解の見通しと専門家の分析

6.1 和解交渉の可能性

現時点での両社のスタンス：

Apple :

- Tim Cook CEOは2024年2月に「Masimoとの和解ではなく控訴に注力する」と発言
- Appleのコスト・ベネフィット分析は独特で、「勝つためには何年もかけて連邦巡回区控訴裁判所まで徹底的に戦う必要がある」というメッセージを発している
- 短期的な和解よりも長期的な法的優位性の確立を重視

Masimo :

- 積極的な特許権防衛姿勢を堅持
- 和解よりも法的勝利による知的財産の価値確立を優先
- Apple以外の潜在的ライセンシーへのシグナル効果を狙っている可能性

障壁となる要因 :

1. 両社の企業文化の違い :

- Appleは「革新者」としての自己認識が強く、他社特許への屈服は避けた
- Masimoは医療機器業界で長年IP保護を重視してきた企業文化

2. 金額の問題 :

- 6億3,400万ドルの判決額に加え、将来のロイヤリティ条件
- Appleは「歴史的な古い技術」への高額支払いに抵抗

3. 戦略的考慮 :

- Appleにとって、Masimoとの和解は他の特許権者からの訴訟を誘発する可能性
- 「Appleから金を取るのは容易」というシグナルを避けた

6.2 ライセンス契約の可能性

実現可能性の評価 :

専門家の間では、最終的にはライセンス契約で決着する可能性が高いとの見方が多数派です。

ライセンス契約のシナリオ :

1. 一括支払い型：

- 過去の侵害に対する一括賠償金（判決額の一部）
- 将来の使用権の買取り
- 金額：5億～10億ドル規模の可能性

2. 継続ロイヤリティ型：

- 1台あたり5～15ドル程度のロイヤリティ
- 年間数億ドル規模の継続支払い

3. クロスライセンス型：

- AppleとMasimoの双方が互いの特許を利用可能に
- 金銭的調整を含む可能性

和解を促進する要因：

1. 特許の失効： 問題の特許は2022年に既に失効しており、将来に向けたライセンスの価値は限定的
2. 長期化コスト： 両社にとって数年にわたる訴訟継続は法務コストが膨大
3. ビジネスへの影響： Appleは製品機能の確実性が必要、Masimoは安定的な収益源の確保が有益

6.3 知的財産専門家の見解

控訴審での判決維持の可能性：

- 高い（60-70%）： 陪審員の事実認定は控訴審で尊重される傾向が強く、「患者モニター」該当性は合理的解釈の範囲内
- 損害額は減額の可能性（30-40%）： 6億3,400万ドルは高額であり、特許失効を考慮して減額される可能性あり

最終的な和解の見通し：

- 和解可能性：中～高（50-70%）： 連邦巡回区控訴裁判所の審理が進む中で、実務的な和解交渉が始まる可能性
- 和解時期： 2026～2027年頃

- **和解金額**： 3億～8億ドル程度（判決額からの減額＋ライセンス契約）

法務専門家Paul Bartkowski氏のコメント（2024年）：

「Appleのコスト・ベネフィット分析は他社と異なります。彼らは今回のケースを通じて、『Appleから支払いを得るには、PTAB（特許審判部）、ITC、地方裁判所で勝つだけでは不十分で、連邦巡回区控訴裁判所まで戦い抜く必要がある』というメッセージを発しています。数年、そして数百万ドル——それがAppleから支払いを得るために必要なコストです」

この見解は、Appleが短期的な和解よりも長期的な抑止効果を重視していることを示唆しています。

7. ウェアラブルヘルスケア市場全体への波及効果

7.1 大手テック企業への影響

リスクの高まり：

今回の判決は、大手テック企業が医療機器メーカーの技術を消費者向けウェアラブルに統合する際の法的リスクが極めて高いことを明確に示しました。

主要プレイヤーへの影響：

1. Samsung：

- Galaxy Watchシリーズも血中酸素測定機能を搭載
- 独自技術開発とIP保護を強化する必要性
- Masimoや他の医療機器メーカーからの訴訟リスク

2. Google (Fitbit)：

- Fitbit Sense等で血中酸素測定機能を提供
- 過去にもAliphComやBodyMediaとの特許訴訟経験あり
- ウェアラブル市場での特許リスク管理が重要課題

3. Garmin、Huawei等：

- 同様のヘルスケア機能を展開
- 特に米国市場での事業展開にリスク

防御戦略の変化：

- **Freedom-to-Operate (FTO) 分析の徹底：** 新機能開発前に特許侵害リスクを詳細調査
- **戦略的特許ポートフォリオ構築：** クロスライセンス交渉の材料となる特許を積極的に取得
- **医療機器メーカーとの提携：** 訴訟リスクを避けるため、初期段階からライセンス契約や共同開発を検討

7.2 ウェアラブルヘルスケア市場の特許訴訟トレンド

訴訟件数の急増：

- Lex Machinaのデータによれば、ウェアラブルおよび医療機器に関する特許紛争は2019年から2022年にかけて年平均50%以上増加
- 2023年には半年間で55件の特許訴訟が提起され、2022年のペースを上回っている
- 2024-2025年もこの上昇トレンドが継続

主要な訴訟領域：

1. **センサー技術：** パルスオキシメトリ、ECG、血圧測定、血糖値モニタリング
2. **データ処理アルゴリズム：** AI/ML を活用した健康分析、異常検知
3. **無線通信方式：** Bluetooth、NFC等のデータ転送技術
4. **ユーザーインターフェース：** 健康データの表示、通知方法

訴訟当事者の特徴：

- **原告側：** 医療機器専門メーカー（Masimo、Philips、Medtronic等）、NPE（非実施主体）の増加
- **被告側：** 大手テック企業（Apple、Google、Samsung）が約40%を占める

7.3 規制環境の変化

FDA（米国食品医薬品局）の役割：

- **医療機器としての承認：** 医療グレードの機能（ECG、血中酸素測定等）はFDA Class 2医療機器としての承認が必要

- **ウェルネス機器との区別：** 消費者向けウェルネス機器は規制対象外だが、「診断」「治療」を謳う場合は規制対象

Apple Watchの位置づけ：

- ECG機能はFDA Class 2承認を取得済み
- 血中酸素測定機能は「ウェルネス」として位置づけ、医療機器承認は取得していない
- この曖昧な位置づけが、特許訴訟での「患者モニター」該当性の争点となった

今後の規制トレンド：

- EUや日本でもデジタルヘルス技術の規制フレームワークが整備中
- 規制の明確化は、特許訴訟リスクの予測可能性を高める効果あり
- 一方で、規制承認を得た機能は特許侵害リスクも高まる可能性

7.4 イノベーションへの影響

ポジティブな側面：

1. **IP保護の重要性の認識：** R&D投資に対する適切なリターンが得られることで、医療技術の革新が促進される
2. **医療機器メーカーの収益源多様化：** ライセンス収入により、更なる研究開発への投資が可能に

ネガティブな側面：

1. **イノベーションの萎縮：** 特許訴訟リスクを恐れ、新機能開発を躊躇する企業の増加
2. **市場参入障壁の上昇：** スタートアップや中小企業にとって、既存特許ポートフォリオの回避は困難
3. **消費者へのコスト転嫁：** ライセンス料の増加が製品価格に反映される可能性

バランスの必要性：

専門家の間では、「過度な特許保護はイノベーションを阻害するが、適切なIP保護はR&Dインセンティブとして不可欠」というバランス論が主流です。今回の判決は、このバランスをどこに設定すべきかという議論を活性化させています。

8. 結論と今後の展望

8.1 判決の意義

2025年11月14日の6億3,400万ドル陪審評決は、ウェアラブルヘルスケア市場における知的財産権の重要性を改めて確認する画期的な判決となりました。

主要なポイント：

1. 「患者モニター」の広範な解釈：医療グレードの連続監視装置だけでなく、高精度の健康アラート機能を持つ消費者向けウェアラブルも該当し得る
2. 高額賠償のインパクト：6億3,400万ドルという賠償額は、特許侵害のコストが極めて高いことを示すシグナル
3. 回避策の困難性：ソフトウェアレベルの変更（iPhone側での計算）でも完全な回避は難しく、ITCが再調査を開始
4. 長期化する紛争：控訴、再審理、並行する複数の訴訟により、最終決着には数年を要する見込み

8.2 今後のシナリオ

短期（2025-2026年）：

- Appleが連邦巡回区控訴裁判所に控訴
- ITCによる再設計版Apple Watchの審査（最大6ヶ月）
- 営業秘密窃取訴訟の再審理
- 判決額の一部または全額の支払い義務の可能性（控訴中の担保等）

中期（2026-2027年）：

- 連邦巡回区控訴裁判所の判決
- 判決維持の場合、和解交渉が本格化する可能性
- ライセンス契約締結の可能性（3億～8億ドル規模）
- Apple Watch米国版への血中酸素機能の完全復活または恒久的削除の決定

長期（2028年以降）：

- 連邦最高裁への上訴の可能性（受理される確率は低い）
- 他の医療機器メーカーによる類似訴訟の増加
- ウェアラブルヘルスケア市場での特許プールやクロスライセンスエコシステムの形成

8.3 日本企業への示唆

日本の医療機器メーカーや電機メーカーにとって、今回の判決は重要な教訓を提供しています：

医療機器メーカー（オムロン、日本光電等）：

- 自社の特許ポートフォリオの価値を再評価
- 消費者向けウェアラブル市場への技術ライセンス戦略の検討
- グローバルな特許権行使の可能性を探る

電機メーカー（ソニー、パナソニック等）：

- ウェアラブル製品開発における特許FTO分析の徹底
- 医療機器メーカーとの早期提携やライセンス契約の検討
- 防御的特許ポートフォリオの構築

スマートウォッチメーカー（カシオ、シチズン等）：

- ヘルスケア機能追加時の特許リスク評価
- 欧米医療機器メーカーの特許動向の継続的監視

8.4 最終的な見通し

Apple対Masimoの紛争は、最終的には何らかの形で和解または ライセンス契約に至る可能性が高いと考えられます。

理由：

1. **問題特許の失効：** 主要な特許が2022年に既に失効しており、将来に向けた紛争継続の実益は限定的

2. ビジネス上の合理性： 両社にとって、長期訴訟継続よりも和解の方が経済的合理性が高い
3. 消費者への影響： Appleにとって、米国市場での製品機能制限の継続は望ましくない
4. 先例の存在： 大手テック企業と医療機器メーカー間の特許紛争の多くは最終的に和解している

和解条件の予測：

- 過去の侵害に対する一括支払い：3億～5億ドル
- 将来のライセンス料：年間1億～2億ドル程度
- クロスライセンス条項の可能性
- 和解時期：2026～2027年

しかし、Appleの「徹底抗戦」姿勢とMasimoの「IP防衛」姿勢を考えると、和解への道のりは平坦ではなく、さらなる法廷闘争が予想されます。

本レポートの情報源： Reuters、TechCrunch、MacRumors、Bloomberg、Masimo公式声明、Apple公式声明、Daily Journal、各種特許データベース、IP専門家コメント等

作成日： 2025年11月17日

*
**

1. <https://gigazine.net/news/20251116-us-jury-apple-pay-masimo-634-million/>
2. <https://www.nasdaq.com/articles/masimo-wins-634-mln-jury-verdict-against-apple>
3. <https://www.engadget.com/wearables/a-federal-jury-ruled-that-apple-has-to-pay-634-million-for-infringing-smartwatch-patents-202846266.html>
4. [https://www.businesswire.com/news/home/20251114743440/en/Masimo-Issues-Statement-on-California-Jury-Verdict-Finding-Patent-Infringement-by-Apple-and-Awarding-Masimo-\\$634-Million-in-Damages](https://www.businesswire.com/news/home/20251114743440/en/Masimo-Issues-Statement-on-California-Jury-Verdict-Finding-Patent-Infringement-by-Apple-and-Awarding-Masimo-$634-Million-in-Damages)
5. <https://appleinsider.com/articles/25/11/15/masimo-awarded-634m-in-apple-watch-patent-infringement-verdict>

6. <https://timesofindia.indiatimes.com/technology/tech-news/apple-ordered-to-pay-634-million-to-masimo-in-apple-watch-patent-dispute/articleshow/125359256.cms>
7. <https://www.reuters.com/business/us-jury-says-apple-must-pay-masimo-634-million-smartwatch-patent-case-2025-11-15/>
8. <https://finance.yahoo.com/news/masimo-masi-5-6-winning-121247545.html>
9. <https://www.investing.com/news/stock-market-news/us-jury-says-apple-must-pay-masimo-634-million-in-smartwatch-patent-case-4361536>
10. <https://mlq.ai/news/us-jury-orders-apple-to-pay-masimo-634-million-in-smartwatch-patent-dispute/>
11. <https://law.justia.com/cases/federal/appellate-courts/cafc/22-1891/22-1891-2024-01-12.html>
12. <https://www.macrumors.com/2025/11/15/apple-634-million-verdict-masimo-lawsuit/>
13. https://www.phonearena.com/news/apple-ordered-to-pay-masimo-hundreds-of-millions-of-dollars_id175766
14. <https://www.hindustantimes.com/technology/apple-loses-big-patent-battle-ordered-to-pay-over-rs-5620-crore-to-this-company-101763355617787.html>
15. <https://www.moneycontrol.com/technology/masimo-wins-major-case-against-apple-jury-awards-634-million-in-damages-article-13678977.html>
16. <https://www.mk.co.kr/en/business/11469049>
17. <https://www.hindustantimes.com/technology/apple-loses-big-patent-battle-ordered-to-pay-over-rs-5620-crore-to-this-company-101763355617787-amp.html>
18. <https://9to5mac.com/2025/11/15/apple-hit-with-634-million-verdict-in-apple-watch-patent-fight-with-masimo/>
19. <https://patents.google.com/patent/US10231657B2/en>
20. https://www.reddit.com/r/apple/comments/loxvxdz/masimo_wins_634_million_verdict_against_apple_in/
21. <https://portal.unifiedpatents.com/patents/patent/US-10433776-B2>
22. <https://finance.yahoo.com/news/jury-says-apple-owes-masimo-210741217.html>
23. https://gigazine.net/gsc_news/en/20251116-us-jury-apple-pay-masimo-634-million/

24. <https://investor.masimo.com/news/news-details/2025/Masimo-Issues-Statement-on-California-Jury-Verdict-Finding-Patent-Infringement-by-Apple-and-Awarding-Masimo-634-Million-in-Damages/default.aspx>
25. <https://www.iclarified.com/99060/apple-ordered-to-pay-masimo-634-million-over-apple-watch-patent-infringement>
26. <https://ptacts.uspto.gov/ptacts/public-informations/petitions/1540766/download-documents?artifactId=trwEEyEX27SF2WuwQgPFyWMcbR3ixsjrf2b3z70cGcJJuBaxTggyWV4>
27. <https://fedcircuitblog.com/wp-content/uploads/2024/02/Apple-Inc.-v.-Masimo-Corporation-opinion-below.pdf>
28. <https://gizmodo.com/apple-suffers-2-defeats-in-one-day-amid-patent-war-with-masimo-2000686437>
29. <https://www.reuters.com/business/healthcare-pharmaceuticals/apple-bring-blood-oxygen-feature-some-us-watches-with-software-update-2025-08-14/>
30. <https://www.macrumors.com/2023/05/01/apple-masimo-trade-secret-lawsuit-mistrial/>
31. <https://www.wareable.com/apple/apple-watch-masimo-import-ban-blood-oxygen-appeal-federal-circuit>
32. <https://www.apple.com/newsroom/2025/08/an-update-on-blood-oxygen-for-apple-watch-in-the-us/>
33. <https://patentlawyermagazine.com/apple-v-masimo-the-clash-over-pulse-oximetry-patents/>
34. <https://www.lowyat.net/2025/373513/apple-ordered-to-pay-masimo-us634-million-over-patent-dispute/>
35. <https://www.theverge.com/24009254/apple-watch-itc-ban-patent-dispute>
36. <https://www.nytimes.com/2025/08/14/technology/apple-watch-masimo-blood-oxygen-levels.html>
37. <https://www.inquartik.com/blog/apple-watch-masimo-pulse-oximeter-litigation/>
38. <https://patentlawyermagazine.com/whats-next-for-apple-the-itc-bans-importation-of-the-apple-watch-into-the-us/>
39. <https://www.pcmag.com/news/irked-by-apple-watch-blood-oxygen-workaround-masimo-sues-us-customs>
40. <https://www.techloy.com/apple-ordered-to-pay-masimo-634-million-in-smartwatch-patent-defeat/>
41. <https://lawreview.law.miami.edu/time-is-power-a-glance-at-apples-ongoing-patent-dispute-with-masimo/>

42. <https://www.fiercebiotech.com/medtech/masimo-sues-us-customs-over-apple-watch-blood-oxygen-green-light>
43. <https://timesofindia.indiatimes.com/technology/tech-news/apple-ordered-to-pay-masimo-634-million-in-smartwatch-patent-case-tech-giant-disagrees/articleshow/125346607.cms>
44. <https://apple.gadgethacks.com/news/apple-watch-blood-oxygen-feature-faces-new-itc-ban-risk/>
45. <https://techcrunch.com/2025/11/15/jury-says-apple-owes-masimo-634m-for-patent-infringement/>
46. <https://www.pcmag.com/news/apple-ordered-to-pay-634m-in-apple-watch-blood-oxygen-patent-dispute>
47. <https://www.reuters.com/legal/litigation/us-trade-tribunal-consider-new-apple-watch-import-ban-2025-11-14/>
48. <https://appleinsider.com/articles/25/08/23/apple-watches-blood-oxygen-restoration-may-get-killed-by-itc>
49. <https://www.benzinga.com/news/legal/25/11/48891424/apple-ordered-to-pay-634-million-after-jury-finds-company-infringed-masimos-blood-oxygen-sensor-patent>
50. <https://www.ainvest.com/news/masimo-landmark-634m-ip-win-apple-implications-medical-tech-innovation-2511/>
51. https://markets.ft.com/data/announce/detail?dockey=600-202511142055BIZWIRE_USPRX____20251114_BW743440-1
52. <https://ipfray.com/apple-gets-250-verdict-against-masimo-loses-on-most-claims-apple-only-wanted-and-failed-to-create-new-reason-for-lifting-apple-watch-ban/>
53. <https://finance.yahoo.com/quote/MASI/news/>
54. <https://www.dailyjournal.com/articles/388571-masimo-wins-634-million-verdict-against-apple-in-high-stakes-patent-fight-over-apple-watch>
55. <https://techandmedialaw.com/patent-litigation-insights-from-apple-inc-v-masimo-corporation/>
56. <https://www.siliconrepublic.com/business/apple-masimo-634m-patent-infringement-us-jury-california-2025>
57. <https://www.gurufocus.com/news/3211099/masimo-masi-wins-634m-patent-infringement-case-against-apple?mobile=true>

58. <https://www.massdevice.com/masimo-634m-apple-itc-considers-import-ban/>
59. <https://devyara.com/business-developments/masimo-clinches-634m-apple-victory-analysts-see-28-upside-to-194-target/>
60. <https://eureka.patsnap.com/report-exploring-the-patent-landscape-for-wearable-biosensors>
61. https://www.phonearena.com/news/redesigned-apple-watch-pulse-oximeter-faces-scrutiny-from-itc_id175756
62. <https://patentpc.com/blog/health-monitoring-patents-samsungs-legal-tactics-in-wearable-tech>
63. <https://unitedlex.com/insights/an-update-and-possible-solutions-in-the-apple-watch-saga/>
64. <https://haugpartners.com/article/patent-disputes-over-wearables-may-herald-broader-patent-litigation/>
65. https://www.reddit.com/r/AppleWatch/comments/19ahjql/masimo_claims_apple_watchs_blood_oxygen_feature/
66. <https://www.witlegal.com/insights/blog/wearable-and-medical-device-litigation-is-on-the-rise/>
67. <https://seekingalpha.com/news/4522671-masimo-wins-jury-verdict-of-634m-in-patent-suit-against-apple>
68. <https://telecom.economictimes.indiatimes.com/news/devices/apple-faces-new-import-ban-threat-for-series-11-watch-over-patent-dispute-with-masimo/125340369>
69. <https://www.medtechdive.com/news/apple-watch-update-blood-oxygen/757723/>
70. <https://www.finnegan.com/en/insights/articles/navigating-ip-challenges-in-the-wearable-tech-space.html>
71. https://cdn.clinicaltrials.gov/large-docs/79/NCT05968079/Prot_SAP_000.pdf
72. <https://unitedlex.com/insights/medtech-patent-battles-key-litigation-trends-and-how-npes-are-shaping-the-landscape/>
73. <https://finance.yahoo.com/news/us-jury-says-apple-must-041551222.html>
74. <https://ipfray.com/exclusive-if-you-recently-bought-an-apple-watch-in-the-u-s-youll-likely-get-pulse-oximetry-for-free-provided-that-apples-appeal-succeeds/>
75. <https://www.wipo.int/en/web/wipo-magazine/articles/the-brave-new-world-of-wearable-technology-what-implications-for-ip-38840>

76. <https://www.moneycontrol.com/technology/masimo-wins-major-case-against-apple-jury-awards-634-million-in-damages-article-13678977.html/amp>

77. https://en.wikipedia.org/wiki/Apple_Watch_health_monitoring_patent_dispute